丹高ニュース

№8

令和4年8月29日（月）

～　豊かな学びの実現　～

グローバルＧＡＰ認証取得のブドウ 台湾へ輸出

丹原高産ブドウ 台湾へ

国際認証取得 生徒丹精 今年も輸出

農産物の生産工程管理に関する国際規格「グローバルGAP」の認証をブドウで取得している丹原高校（西条市丹原町願連寺）が今年も、生徒が丹精したシャインマスカットとニューピオーネを近く台湾で販売する。26日に荷造りを進めた生徒らは「高温や虫害などで栽培が難しかったが、何とかいいブドウができた」とアピールした。

同校がブドウの台湾輸出や現地での販売実習を始めたのは2018年。20年以降は新型コロナウイルスの影響で生徒の渡航はできていないが、輸出販売は続けている。

22年は計50～55キロを箱詰めし、荷造りには園芸科学科3年生8人が参加。1房ごとに重さを量り、特殊な袋やウレタンの緩衝材で包装して丁寧に箱詰めした。

神奈川県の倉庫に運ばれた後、航空便で台湾に輸出し、9月上旬に台中市の高級スーパー「裕毛屋」で販売する。

同校によると、今年は猛暑で夜間の気温が下がらず、十分な糖度になるまで例年よりも1カ月程度遅れた。販売も例年より遅くなったが、台湾では9月10日前後が「中秋節」の連休に当たるため、主に贈答用で販売する。

菅沙月さん（17）は「傷が付かないよう緩衝材の入れ方などを改良した。大変なことが多かったが、何とか輸出販売ができてよかった」と安心した様子。

今井那智さん（17）は「日本の高校生がグローバルGAPを取り栽培していると知ってほしい」と話していた。

（高橋圭太）

台湾へ輸出するシャインマスカットの荷造りに取り組む丹原高生

丹高は海外に近い学校です。

台湾での評価は高く、生徒たちは、さらに、農業学習に自信と誇りを持って取り組んでいます。

令和４年８月29日（月）付け愛媛新聞
（掲載許可番号d20220829-08）